

決定

緊急助成 振興基金

象の13事業を助成支援。調査内容は、公共建築工事費実態調査、工事受注アンケート調査、入札契約調査、社会保険未加入問題実態調査など。

3 戦略的広報事業は、各団体の災害復旧活動や除雪等地域維持活動、社会貢献活動等の活動記録の収集・整理、建設産業と社会をつなぐネットワーク構築、若年層確保のために必要な活動など32事業を支援。ホームページを活用した広報活動や現場見学会、技術・技能展示会などを支援する。

は、災害訓練活動や緊急時の出勤態勢の整備などの24事業を支援。具体的には、災害情報共有システムや資機材データベースシステム構築、道路・河川等管理情報システム運用、災害対応マニュアルの整備、事業継続活動(BCCP)の策定などを支援する。

若年者・将来の担い手確保・育成事業では、関連講習活動など40事業を支援。工業高校生向けの建設業経理事務士3、4級特別研修や、2級建築・土木施工管理技術検定学科試験の受験対策講座(富士教育訓練センターで実施)などが対象。同センターから講師

参加業者を募集

組合

表(福岡県内分のみ) ※発注者・請負金額・工期・建物概要等を詳しく明記のこと④直近の経営事項審査結果通知書(写し)⑤直近3年間の決算書(書類提出先) ①〒810-0002 4、福岡市中央区桜坂3丁目10-37、コアマンション桜坂レジオ

録講習会なども支援する。

このほか、建設産業の振興・活性化、体質強化に関連する事業(清掃活動などの社会貢献活動、技術者育成のための教材制作)も支援。9事業に

全国25カ所で開催 構造物の補修等フォーラム JCM A

一般社団法人コンクリートメンテナンステクス協会(JCMA、徳納武使会長)は、『コンクリート構造物の補修・補強に関するフォーラム2013』を来月8日の福岡フォーラムを皮切りに全国25カ所で開催する。同フォー

見積参加応募書類在中」と明記の上、厳封し、平成25年5月15日(水)15時迄に提出(宅急便に限る) (注意事項) ①同伴に関する問合せ(電話含む)には一切応じない②提出書類に虚偽等の記述があった場合、その時点で失格とする③応募した全ての会社が見積参加できるとは限らない④記費参加会士優先

同事業は、昨年度に各団体に実施した「お役立ち度UPキャラバン2012」での意見交換結果に基づき新設。22年度から実施している建設業振興特別緊急支援助成のメニュー刷新を図った。

いたが、本年度のフォーラムでは補修工法選定の考え方や適用性を中心に解説。江良和徳氏(工学博士、極東興和)が『コンクリートの劣化と補修工法選定の考え方』、中丸大輔氏(コンクリート診断士、日本ペイント販売)が『コンクリート剥落防止と塗膜型剥落防止システムについて』と題し、講演する。

後援は、土木学会、日本材料学会、日本コンクリート工学会、プレストレストコンクリート工学会、九建日報社など。

昨年までは補修の基本に重点を置いて講演して

民間建築工事

久留米市

※建築主(住所) ①建設地②用途・規模③設計者④施工者⑤予定工期の順。

5月23日

▽福岡支店⑥3月8日

▽個人①東台川4丁目②長屋W造3階建延べ573㎡③大東建託㈱

建設 友松産業、矢頭土木、大和設備工業所、島崎設備工業、西海建設、三信商事、信栄建設工業、高本組、幸運、MZ EC、岩淵工務店、大和建設、藤智産業

十三日

▽市道肥前線橋中摩橋梁災害復旧

「指名十六社」松葉建設、九州道路施設、小山組、熊谷組、熊谷重機、小池石材、北村住建、トコー建設、ナカマ建設、西日本建設、アールケイコーポレーション、岩本工業、中津企画、西畑住宅、小山フェンス、日本乾溜工業

▽県営備事業 四一

「指名」コンサ

「指名十六社」トキワ電気工事、翼工業、栄大ブランドサービス、大和設備工業所、三好電気、平成工業、隆電設、黒土建設、古堀組、渡辺建設、小野工務店、大江電機、シヤマタ④山田建築事務所⑥3月22日⑦12月30日

▽医療法人秋吉内科(久留米市) ①荘島町②短期入所生活介護施設新築S造3階建延べ868㎡③④金子建設㈱⑥3月25日⑦8月10日

建設 友松産業、矢頭土木、大和設備工業所、島崎設備工業、西海建設、三信商事、信栄建設工業、高本組、幸運、MZ EC、岩淵工務店、大和建設、藤智産業

十三日

▽市道肥前線橋中摩橋梁災害復旧

「指名十六社」松葉建設、九州道路施設、小山組、熊谷組、熊谷重機、小池石材、北村住建、トコー建設、ナカマ建設、西日本建設、アールケイコーポレーション、岩本工業、中津企画、西畑住宅、小山フェンス、日本乾溜工業

▽県営備事業 四一

「指名」コンサ